

## 祈りの力 ヴェーンカッパンナのウルルへの訪問 シャーンバヴィー・クリスチャン

ヴェーンカッパンナ・シュリーヤン(1929－2001)は、私たちの多くが、彼を知り、そして共に奉仕ができたことを誇りに思っていた、献身的なシッダ・ヨーガ・サーダカでした。彼は南インドに生まれ、若い時に仕事のためにムンバイに転居しました。その頃、彼はガネーシュプリーに行き、バガヴァーン・ニッテヤーナンダのダルシヤンを持ちました。ヴェーンカッパンナは、数年間定期的にバデ・バーバを訪れました。そして1950年に、バデ・バーバからバーバ・ムクターナンダに仕えるように命じられました。それ以後の全人生をアンナ(カンナダ語で「お兄さん」という意味の親愛を込めた言葉)は、バーバに、そしてグルマーイに、揺るぎない献身で仕えました。ひとたびシュリー・グルに自分の人生をささげると、アンナは決してグルデーヴ・シッダ・ピートゥの外のどこにも行こうとは考えませんでした。

1989年、グルマーイはヴェーンカッパンナに特別な贈り物をしたいと望み、それはアンナに、彼の最愛のグル、バーバ・ムクターナンダが訪問した所で、シッダ・ヨーギが彼をもてなして案内できる所への旅をさせることでした。ひとたび彼の旅が始まると、誰もがアンナと共に過ごすこと、そして即席の集まりで彼が語るバーバやグルマーイの話を聞くのを愛したことは明らかでした。いっそう多くの人々が、自分たちのコミュニティーに、自分たちの国に来てくださいと、アンナに願い始めました。

これをグルマーイが知った時、グルマーイは言いました。「考えるまでもありません！ もちろんです——もしアンナがそれを喜んでする気があるなら、旅のための準備を用意しましょう」。それがアンナに提示された時、彼は答えました。「私はグルマーイが望むことなら何でもします。私は、どのような役割でもセーヴァーをささげたいです」

ヴェーンカッパンナはバーバ・ムクターナンダから料理を学び、それ以来、彼自身が料理のエキスパートになりました。香りが良く、おいしくて栄養にあふれた彼の料理は、アーシュラムでもとても人気がありました。グルクラの生徒も訪問者たちも、アンナによって調理された食事を大切にしました。グルマーイに食事を作れる時はいつでも、最大の喜びをアンナに与えました。

アンナのグルセーヴァーに対する深い理解と、おいしい料理を作る彼の才能との組み合わせが、グルマーイに、アンナが世界旅行をする中でその両方を伝えることができるというアイデアを与えました。そうして、グルマーイはヴェーンカッパンナに、サツァングと料理のクラスの開催を始めるよう要請しました。

その後数年、1994 年まで、アンナはシッダ・ヨーガの世界中のコミュニティーに旅をして、彼のセーヴァーをささげることの類いまれな物語の数々、料理の香り、バーバやグルマーイへの敬愛、そしてシッダ・ヨーガの道の知識などで、多くの信奉者たちに刺激を与えました。

1991 年 5 月、アンナがオーストラリアにいた時、グルマーイの要請で、彼はウルルを訪れました。それは、アボリジニの人々にとって神聖な、オーストラリアの砂漠の中心部にある巨大で壮大な赤い岩石層です。

アンナが訪れた時点で、雨は 1 年間降っておらず、大地は極めて乾燥していました。アンナがウルル近くの空港に到着すると、アボリジニの人々が彼を出迎えに来ていて、長老の一人が彼を大きく抱擁しました。アンナは後に思い起こして言いました。「その瞬間、私はとても感動しました。それはグルマーイの愛に感じられました」

その日の夕方、彼は初めてウルルを訪れました。アンナは偉大な岩の洞窟の一つに引き寄せられるのを感じました。それは美しいエネルギーを持っているようでした。彼は敬意を表わすために、そこに近づきました。彼はそこで、沈む太陽の光を浴びて洞窟の入り口に立っている

バーバとグルマーイのビジョンを見ました。アンナは彼らに一心に祈りました。彼らの恩恵を通して、この土地が切望する雨を受け取るようにと。

その夜、宿に戻って眠りに就こうとした時、彼は水の音を聞きました。雨だと気づきました！翌朝、雨はやんでいました。再びアンナは、今度はプージャーを行い、プラダークシナーをするためにウルルを訪れました。

彼が神聖な一枚岩に近づくや否や、雨が激しく降り始め、彼が崇拜を始めると、ほとんどすっかりやみました。アンナは光を揺らし、線香と花をささげました。プージャーが終わってプラダークシナーを始めると、雨は再び強くなりました。彼が一步進むごとに雨は強さを増していくようで、ついには土砂降りになりました。

後にアンナは雨を描写して言いました。「岩の側面をととてもたくさんの滝が流れ落ち、その周囲は湖になりました。あらゆるものが水で覆われたのです！」それでも、彼のプラダークシナーを完了させる決意はそがれませんでした。ずぶ濡れになりながら、ウルルの周囲を4時間歩き続け、雨の恩恵をバーバとグルマーイに感謝しました。

アボリジニの人々は再びヴェーンカップンナに会いに来ました。彼らの顔は喜びと驚きで輝いていました。彼らは言いました。「あなたがここに来る前は、この土地は丸1年の間完全に乾いていたのです！ どうやって雨を降らせたのですか。あなたは誰なんですか。聖人ですか」。アンナはほほ笑んで答えました。「いいえ、私は聖人、偉大なグル、グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダの弟子です。彼女の存在はどこにでもあります」

